できた！があふれた 2年生のあさひ

～生活科と体験学習で育まれた 子どもたちの成長のあゆみ～

1. よむきあう・よむきだんごづくり（4月）

～声をかけ合い、手を取り合って生まれた「はじめてのごちそう」～

新緑がまぶしい４月、「よもぎだんごを作ってみたい！」という子どもたちのワクワクした一言から活動が始まりました。まずは動画でよもぎの特徴を確かめ、２列でしっかり並んで近くの土手へよもぎ探しに出かけました。



土手でのよもぎ探し



よもぎだんご作り

直面した壁

すりつぶすのが大変！手が疲れちゃう…… 集めたよもぎをすり鉢ですりつぶす作業は、想像以上に力が必要でした。「手が疲れちゃった」「なかなか細かくならないよ」 と、最初は作業が思うように進みませんでした。

解決策と発言

苦戦する中で、グループの中からこんな素敵なアイデアが生まれました。『『１、２、３…２０！』って２０回叩いたら次の人と交代しよう！」 お互いに声を掛け合い、リズムよく交代しながら協力して楽しそうにすりつぶすことができました。

成長と工夫

だんごを丸める場面では、細かなおだんごをきれいに並べる子、これまでにないオリジナルの形に挑戦する子など、自由な発想が溢れました。片付けでも「自分たちでできることをやろう」と自発的に手分けし、お皿洗いやシンクの掃除まで誰一人文句を言わずにピカピカに仕上げました。

2. ミニトマトの生育と観察（5月～7月）

～魅力の発見から探究へ！「中に小さな科学者たちの探究心」～

5月中旬に一粒の種を観察し、「すごく小さい！葉がふさふさしている！」と発見。水やり、毎日水やりを続けました。



ミニトマトの種を植えよう



観察カードに書こう

直面した壁

ジャングルのように大きくなって描けない！愛情を込めて育てるうちにトマトはぐんぐん生長しました。しかし、7月に入ると「葉っぱが多すぎてカードに収まらない」「どこを描けばいいかわからない」と手が止まってしまいました。

解決策と発言

「一番すごい部分」を拡大して描こう！ 全部を描くのではなく、「自分が一番すごい！と思った部分を虫眼鏡でのぞくように大きく描く」という工夫を取り入れました。

成長と工夫

花の部分だけを大きく描いた絵と、全体を描いた絵の２つに分けて工夫して表現する姿が見られました。 茎の表面に生えている細かい「産毛」までじっくり見つけて描き込みました。 茎に直接触れて「下はふわふわだけど、上はちょっとベタベタしてる！」と五感で違いを発見しました。

3. すいすい号（船）づくり（6月～7月）

～ハプニング大歓迎！プールに浮かんだ船の進水式～

1学期の大きなチャレンジは牛乳パックやペットボトルを使って「プールに浮かぶすいすい号」を作ったことです。



船づくりと試作



よりよくするために

直面した壁

大きな船を作りたいけれど、材料が足りない！ 最初の設計図では「４人乗りの大きな船を作りたい！」と夢が広がりましたが、計算してみると牛乳パックが100個以上も必要で、材料が不足する壁にぶつかりました。

解決策と発言

「本当に必要な部分だけ残して、コンパクトな船に変えよう」と知恵を出し合いました。さらに「全校のみんなにチラシを作って配って、集めてもらおう！」という提案があり、みんなでチラシを作成して校内に呼びかけ、無事にたくさんの材料を集めることができました。

直面した壁

プールに浮かべたら、水が入って折れちゃった！ いざ組み立てて水に浮かべると、「水が入ってくる」「座ったら椅子の背もたれがベコッと倒れちゃう」というトラブルが発生しました。

解決策と発言

頑丈な柱づくり：パックの中にさらにパックやペットボトルをぎっしり詰めて「頑丈な芯」を作り、ガムテープを隙間なく巻いて強力に補強しました。 逆転の発想：椅子の背もたれがバタッと倒れてしまうハプニングに対し、子どもたちは「倒れたままでいいんじゃない？」「寝転がって乗れるベッド付きの船にしよう！」とひらめき、見事５人が並んで乗れる魔法の船が大完成しました。

成長と工夫

７月下旬の進水式、プールには子どもたちの工夫が詰まった船が見事に浮かび、乗ることができました。 活動の終わりに、ある子がしみじみと言いました。 「やってみて、あきらめずに頑張るから、うまくいくんだね」

保護者の皆様へ

2年生の活動は、単に「ものを作る」「植物を育てる」だけではありません。
子どもたちは一つ一つの気づきを、自分たちの考え方・友だちの意見を聞きながら、自分たちの手で課題を解決していくすがたが育っています。
これからも子どもたちの「やってみたい！」を温かく見守っていきたいと思います。